

グアムの  
隣の島  
チュークって  
ご存知ですか?

# CHUUK MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

ミクロネシア諸島に並ぶ島々のなかで、グアムから一番近い島・チューク。

飛行機でのアクセスの良さは然ることながら、ダイバーの好奇心を煽る大変興味深い海が広がっている。

濃紺のミクロネシアン・ブルーを舞台に、メジロザメのクリーニングシーン、-10mの小粋なマクロの人気魚種たち、そして海洋博物館のような沈船の数々と出会うことができる。

チューク初の日本人ダイビングセンター〈トレジャーズ〉の個性溢れるガイド陣が、

チュークの海の魅力を毎ダイブ、全力!で紹介してくれる。

Photo & Text = Yasuaki Kagii  
Special Thanks = TREASURES  
Information Link = <http://www.treasures-chuuk.com/>  
Design = Sitron

01/ 典型的な南国の島、シャークアイランド 02/ 潜降するバディーの泡を追いかけて、ミクロネシアンブルーに包まれる

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer



Information Link  
<http://www.treasures-chuuk.com/>

click! 関連情報HPへ



01

01/レンボウランナーと呼ばれるツムブリ  
02/ミクロネシアの固有種



02



02



03



03



03



03



# メジロザメの珍しい クリーニングシーン! 大口を開けて サメが沈んでいく .....?

チュークのダイビングエリアのひとつであるインリーフのポイント。  
白い砂地とサンゴ礁が広がり、ダスキアネモネフィッシュなどがコロニーを作る「癒し系」のポイントが点在する。なかでも、今回最も驚いたのは、「シャークアイランド」と呼ばれるポイント。港からボートで約25分間移動すると小さな島に到着する。数本のヤシの木が並ぶ南国イメージそのままの島が「シャークアイランド」である。実は、その島の周囲には、たくさんのサメが住みつき、多いときには20

匹ものサメと簡単にご対面することができる。種類は、オグロメジロザメ、ネムリブカ、ツマグロ、たまにシルバーチップシャークも現れるという。エントリーしてなだらかな砂地の傾斜から沖に目をやると、柔らかいトーンのブルー×白のパノラマ風景が広がっている。そのなかを元気に泳ぐサメたちはある根の周りで立ち往生し、口を大きく開けては、お尻からフラフラと沈んでいく。初めて見たサメのクリーニングシーンだった。泳ぎ続けなくて生きていけないサメたちがなんとか立ち止って、ホンソメワケベラの施術を受けよ

うとしている。その様子がとても可笑しくて、また可愛らしい。ちょいワルなイメージのサメもこれでは少しコミカルに見えてしまう。このクリーニングシーンは珍しい行為ではなく、チュークの海では毎日行われているという。水深も浅く、潮の流れもないので、初心者からエントリーして楽しむことができる。また、他にも黒、白、黄色のギンガハゼがわんさかと見られる「トレジャーズリーフ」や豊かな枝サンゴが広がり、モンツキカエルウオの団地も見られる「エッテンモクモク」などのインリーフのポイントがあり、見所は尽きない。

04  
03/大口を開けて、ホンソメワケベラのクリーニングを受けるオグロメジロザメ  
04/太陽に光が差し込む浅瀬は豊かなサンゴ礁が形成されている

## CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer

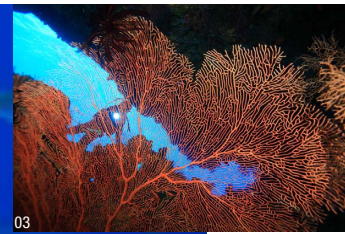


Information Link  
<http://www.treasures-chuuk.com/>

←click! 関連情報HPへ



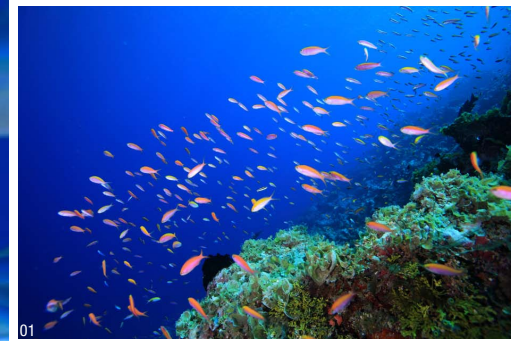
青い海の彼方から、いきなりツムブリとマテアジが現れ、周囲を取り囲んで、至福の時間を堪能させてくれた



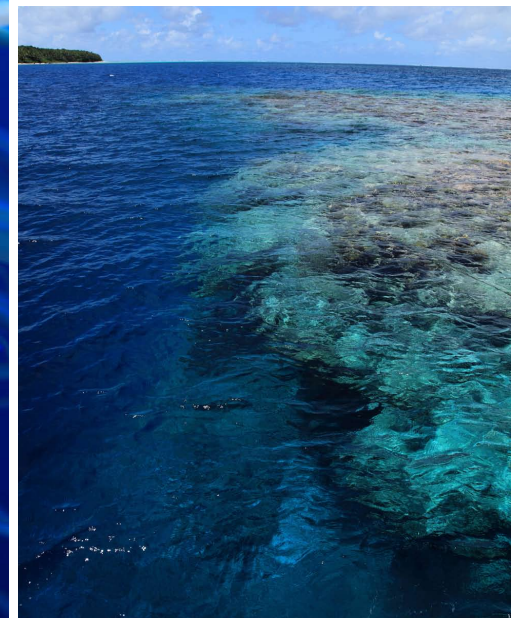
03



02



01



04



05

## 楽園ダイブへの極上シート・キミシマ環礁遠征トリップ!

チュークでのダイビングをより印象的にしてくれたのは、「キミシマ環礁」への遠征トリップだった。更に濃いマイクロネシアン・ブルーに包まれながら、水深100mまで落ち込むドロップオフを漂う。最初に潜降したダイバーを見下ろすと、シャボン玉のような気泡が続々と浮かび上がる。まるでシャンパンの奥底の導かれるような甘美な気持ちにさせてくれる。透明度がとても高いために、浮遊しているだけでも、特別な遊びに興じている気持ちになる。一度、沖合いからツムブリの群れが現れたので、ドロップオフから少し離れてみた。すると後続のマテアジと共に囲まれ、気がつくや魚群洗濯機を中心にいた。グルグルと自転しながら撮影して

いた私に気が付いた1匹のサメがやってきた。魚群と一緒に回転を始めては、ツムブリをたくさん従えて、共に青い海先へと消えていった。寄り添うようなサメとツムブリの関係を、腕を伸ばし1枚だけ撮影することができた。そして、リーフには、これまで見たことのない、万をもって数えるバートレットフェアリーバスレット、アカネハナゴイ、ミナミハナダイが群れている。ヒーズの玉をひっくり返したようなカラフルでポップな景色がそここで弾んでいた。彼らの様子を眺めていると、この海はまだダイバーにとって未踏の地であることが容易にわかる。チュークを訪れる欧米人ダイバーのほとんどは、インリーの沈船ポイントばかり

潜り、このキミシマ環礁に遠征することはまずない。感覚的なものでしかないが、リーフの上を泳ぐとき、無垢な生物層から新しいパワーのようなものを感じていた。ダイバーが慣れ親しんだエリアでは、こんな直感をもう得ることはない。更に、「トレジャーズ」には、オリジナルポイントがあるので、是非そちらにもエントリーして欲しい。ドロップオフだけでなく、サンゴのオブジェが美しい砂地のポイントなどが用意されている。また「トレジャーズ」では、キミシマ環礁に遠征した場合、積極的に3ダイブを行っているのでお得感がある。楽園ダイブの極上シートが約束されたキミシマ環礁へ是非!

- 01/ 色鮮やかなバートレットフェアリーバスレットの群れ
- 02/ 水面に映る立派なサンゴ礁。浅瀬が織り成す青のグラデーションは感動的だ
- 03/ ドロップオフのポイントでは、大きなウミウチワなども見られる
- 04/ ボートからでも垂直に落ち込むドロップオフが見て取れる
- 05/ 笑顔でダイビングの終えるガイドのふたり

# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer





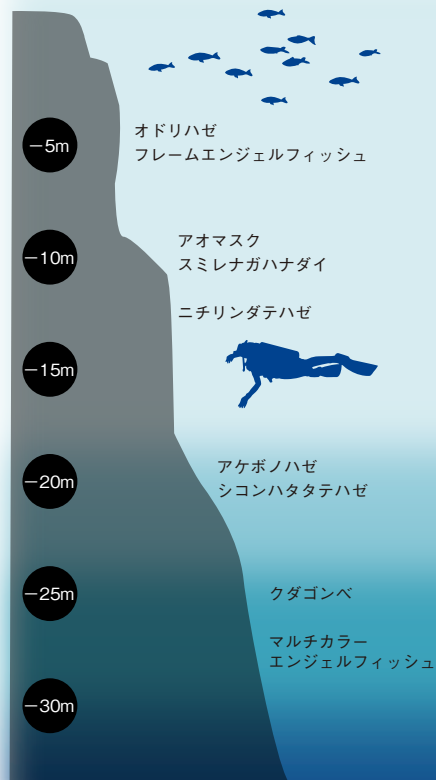
01/サロンバスの愛称があるスミレナガハナダイ 02/成魚と幼魚が混合したアオマスク 03/やっぱり人気者のクダゴンベ 04/ビビッドな体色が印象的なフレームエンジェルフィッシュ

## -10mの世界に住むチュークの粋な生き物たち



キミシマ環礁のもうひとつの魅力は、マクロの生き物が充実していること。それも他の海域よりも浅い水深で人気種が見ることができる。大雑把な表現だと、他の地域に比べて、-10~20mの浅い水深にお目当ての魚たちが生息している。これは、とても嬉しいことで、例えば、水深30mくらいで多く見られるアケボノハゼ、スミレナガハナダイ、アオマスクなどは、水深10~20mで見られる。この深度だとストレスも少なく、またカメラでの撮影も容易でより熱が入る。特にスミレナガハナダイやアオマスクは、リーフの至るところで見られ、ダイビングの途中からは注目しなくなってしまうほど。更に嬉しいのが、マルチカラーエンジェルフィッシュやシコンハタタテハゼを含めたこれらの人気種は似たような環境に生息するために、それほど移動しなくても簡単に会えてしまう。チュークの海で見られる人気種をすべてリクエストして、ミクロネシアの粋なマクロの生き物を是非、堪能して欲しい。

05/可憐な配色のシコンハタタテハゼ 06/背びれが開いたときの撮影のタイミングであるニチリンダテハゼ 07/出会い頭に撮影することをお薦めするマルチカラーエンジェルフィッシュ 08/可憐なバステルラス 09/自力でも探すことのできるアケボノハゼ 09/背びれの赤色が印象的なアカネハネゴイ 11/存在そのものがかわいいコミカルプレニー



# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer

Information Link  
<http://www.treasures-chuuk.com/>

click! 関連情報HPへ



## PROFILE

鵜口 尊信 TAKA

大学卒業旅行でやった体験ダイビングに魅了されダイバーに。カード取得後はスポーツクラブのインストラクターとして働きながらダイブマスターに。その後ダイビング事業部へ移り10年間都市型ショップのインストラクターとして働く。事業部解散を期に念願のチュークへ移り住み「トレジャーズ」をオープンする。

### TAKAが語るチュークの海の魅力

チュークの海の魅力はなんといってもダイビングスタイルのバリエーションの多さです。沈船をはじめ、ドロップオフ、パスダイブ、サンゴポイント、砂地、サメポイントなど、お客様のご要望に応じたすべてのダイビングができるということ。またダイビング中にイルカに遭遇することもしばしば。世界中でもここまでのバリエーションはありません。私個人的には、「ダイビングは青い海で」と思っておりますので、サラット・パスでのダイビングが気に入っています。パスのダイビングなので当たり外れは潮によってありますが、ここは抜群の透明度を誇り、本当のミクロネシアンブルーが堪能でき魚がいなくても「ああダイビングって気持ちいい〜」と感じられるので、お気に入りです。

### TAKAのガイディングのこだわり

ダイビングというのは、皆さんが「潜る」というのは同じですが、その目的は千差万別ですよね？カメラやビデオ、アドベンチャー、フィッシュウォッチング、はたまた中層の浮遊感etc。そういった全ての方のお手伝いを安全かつストレスを水中で感じないように潜ってもらうことが、ガイドの仕事。珍しいものや小さいものを見せることがガイドの全てではありませんよね。(もちろんこれも必須ですが)もちろん陸上やボート上も同じ。チュークに来たらダイビング中は(海も陸も)思いっきり楽しんでいただけるよう心がけています。リクエストにはできるだけ、お答えするようにしていますので、バンバンリクエストしてくださいね。あんまり無茶言われると困りますが……

### TAKAが紹介するガイドの人柄

〈YUKI〉トレジャーズの紅一点。女性ならではの決め細やかなガイディングと、笑顔が2重丸で、お客様からの信頼も厚い。長年のインストラクター経験を活かして、初心者からベテランまで確実なサポートができる。チュークで日本人女性ガイドは彼女だけ。現在育児休暇中だが、来年復帰予定。

〈KEISUKE〉元銀行員からチュークの海に惚れ込みガイドへ転向した変わり者(笑)ももとの仕事柄なのか、実直なガイドは初心者ダイバーに好評。ミクロネシア固有種、新種探索に余念がない。また、沈船の新しい内部進入のルート開拓にも力を入れている。筋トレオタクで、ダイビングに行かない時は倉庫の中から「おりゃあ〜」とバーベルを持ち上げる声が聞こえる。

# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer





#### PROFILE

横田圭介 KEISUKE

会社勤めをしながら週末は和歌山県南部でガイド、2年半前に「TREASURES」オープン時に会社を辞め、チュークに渡る。

### KEISUKEが語るチュークの海の魅力

チュークの海の魅力は、色々なスタイルのダイビングが楽しめることでしょう。チューク環礁内に沈んでいる約50の船舶・飛行機は、沈んでから65年の年月を重ねる間に多種多様な生物がそれを住処とし、各ポイント・季節により様々な表情を見せてくれます。また、そこでは歴史に触れることもできます。今ではチュークという名前さえも日本では知らない人が多いですが、人口5万人のこの島に、以前は6万人もの日本人が生活していました。水中で過去の日本に触れることができる、貴重な場所なのです。チューク環礁を抜けアウトリーフに出れば世界は一変

し、手付かずの自然がそこにあります。ドロップオフの紺碧の世界に飛び込むと回遊魚が悠然と泳ぎ回り、壁に目を向けるとマクロの世界を覗くことができます。棚の上では元気なサンゴと鮮やかな色彩の魚達が日の光を浴びてキラキラと輝いており、エキジット直前まで楽しめます。

### KEISUKEのガイドングのこだわり

せっかく、ダイバーに馴染みの薄いチュークに来てもらったからには（笑）、楽しんで帰ってもらいたい。外洋のドロップオフでは驚きの透明度と豪快な地形を堪能してください。そしてその壁際には、マイクロネシ

アの固有種を含む数々のアイドルたちが集まっています。他の海では見ることのできない魚達をご紹介します。中には地味なものも含まれますが……

そして、他の海ではなかなか体験できないレックダイビング。その巨大な沈船には、たくさんの生物が住んでいます。船橋にはソフト&ハードコーラル。そのサンゴを隠れ家にした魚たち。甲板の砂溜りにも、船倉の暗がりにも生物が溢れ、マストに寄り添っている小型の魚の群れを捕食しようと泳ぎ回る、大型の魚たち。慣れない沈船ダイビングでは、目を何処に持っていかばいいのか迷うもの。そんなみなさんにも、たくさんの生物の生態を見てもらえるように、丁寧なガイドを心掛けています。

### KEISUKEが紹介するガイドの人柄

〈TAKA〉“チューク”をガイドすることが生甲斐。“海を見てもらう”よりも“海で楽しんでもらう”ガイドングを信条とする。初心者からベテラン・フォト派まで、幅広い知識と経験を活かしケアをする。水面休息中は、チュークの歴史からお笑いまで紹介、ゲストを楽しませる関西人気質を発揮する。

〈YUKI〉生物の特性・特徴を女性ならではの視点から捉え、ゲストに楽しく伝えるガイドングが持ち味。持ち前の笑顔とホスピタリティーで水中・水上ともにゲストをケアする。いたずら好きなので、ボートでの移動中・ダイビング中でも彼女に背中を見せるのはご法度（笑）

## CHUUK, MICRONESIA

マイクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer





「素顔ガイド」の「下シヤ」ズ

## PROFILE

鵜口裕紀 YUKI

10月27日生まれ 蠍座 O型 エアロピクスインストラクターから転身してダイビングの世界へ。大阪のダイビングショップで5年間勤め、その後、旦那である鵜口尊信とチュークへ移住し全て手作りでTreasuresを立ち上げる。現在、出産、子育てのため日本に一時帰国中。近いうちに息子連れてチュークへ戻る。

## YUKIが紹介するガイドの人柄



〈KEISUKE〉仕事と筋トレに関しては妥協を許さない真面目で頑固な慎重派(笑) 本人は至って普通にどちらかといえば2枚目路線の行動をしているようだが、周りから見たら超3枚目でお茶目な部分が際立ち男っぽい強面? の外見とのギャップで本人が望むと関係無くゲストから笑いを取ることが多く女性からの人気も高い。中途半端は許さない、信頼出来る男。

## YUKIが語るチュークの海の魅力



何でもあり! な、凄い海。  
チュークの魅力は「世界一のレックダイブ」を外しては語れない。チュークの海に勝るレックダイブはどんなに探しても他に無い。だけどチュークの海はレックダイブだけではないというのがチュークの海の魅力。実際のところ、世界一のレックダイブの海へ来てもチュークでレックダイブはしないという女性ダイバーや一般ダイバーのリピーターさんやショップさんツアーが多いのも事実。沈船を取り囲む魚影の濃さ、アウトリーフの透

明度の高さも魅力のひとつ。お茶目なサメのクリーニングシーンを目の前で見学出来るポイントがあったり、一般的には深場で生息すると言われるカワイイ小物達があつてしまふし、ダイビング中に時々現れてくれる人懐っこい野生のイルカ達も魅力的。海の中だけでなく、ポイントまでの移動、水色、青色、藍色、群青色、紺色、薄緑色、黄緑色、色んな海の青色を堪能出来る、子供の頃に絵に描いたような無人島がぼっかり浮かんでいたり…。南の島 CHUUK パワーで癒され効果は特大!

## YUKIのガイドのこだわり



Treasuresを訪れてくださったゲストの皆さまにチュークの海の魅力をひとつでも多くご案内できるように、お一人お一人のダイビングスタイルとリクエストをしっかりと組み込んだガイドングを常に心がけて日々精進。同じポイントでも、昨日と今日、明日、そして潜る時間帯により変わっていくもの。ワンパターンにならないよう、いつも新鮮な気持ちでゲストに伝えられるよう、自分の目線を変幻自在に操られるようにしたい。「海の中はもちろん、ボートの上も、陸上も全てを全力でケアする!」これが、ゲストが喜んでいただけるガイドングに繋がる。

〈TAKA〉老若男女、国籍問わず誰とでも一瞬で溶け込めるバイタリティーの持ち主で、町を歩けば知らない現地人からも「TAKA～」と呼び止められてしまうほど…チュークの海に惚れ込み「チュークに日本人初のダイブショップを創ろう」と直感を信じて、日本を飛び出しチュークに移住してしまう行動派。基本、あっさりした性格だけど、ゲストがチュークに到着した瞬間から飛行機でチュークを飛び立つ瞬間までを無意識にトータルでケア出来るキメ細かい部分もちらほら。ガンダムやらデビルマンやら何やらとアニメオタクな部分もありボートの上では海以外の話題で盛り上がることもしばしば。そのためか? 幅広い年齢層のリピーターが多い。

# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer



## 海軍航空機運搬船・富士川丸

- ◆トン数 6,938t ◆全長 140m
- ◆旧所属 三井物産船船 ◆船種 貨物船

世界で一番美しい沈船と呼ばれるチュークを代表する沈船。沈んでいる場所は、潮通しも良く、透明度が高い。比較的浅い深度にあるために、船内探索も容易、かつ安全にできる。ゲストのスキルに合わせて、エンジンルームなどに入るいくつかのコース取りがある。



# 海の戦跡博物館 チュークの海で戦争を知る

## 特設給油艦・神国丸(右)

- ◆トン数 10,0020t ◆全長 153m
- ◆旧所属 神戸棧橋 ◆船種 タンカー

船首が浅い(10m前後)ため、ビギナーからエントリーすることができる。透明度はあまり良くないが、魚影が濃く、小さな魚たちを捕食する中型魚が回遊する。船体には、サンゴ、ソフトコーラルなどが鮮やかに群棲している。

## 海軍運送船・山霧丸

- ◆トン数 6,349t ◆全長 140m
- ◆旧所属 山下汽船 ◆船種 貨物船

輸送船船底に被爆した大きな穴から船倉に入る。一番の見所は戦艦「武蔵」の砲弾。横倒しのためにスクリューがよく見える。



第二次世界大戦時、チューク諸島は連合艦隊の根拠地でもあり、またマーシャル、ソロモン諸島方面の中継地点としても重要な軍事基地だった。昭和19年2月17日、18日の両日、ここに集結していた日本の艦船約40隻が、米軍の攻撃を受けてもろくも沈没した。現在も多くの日本連合艦隊の、また日本商船の沈船、また零戦など戦闘機が海底に眠っている。私たちダイバーは、それらの水

中戦跡に潜り、当時の様子を伺い知ることができる。海の中は陸上と違い、それらの戦跡が風化されることなく、沈没当時の姿を留めている。浅い深度に鎮座する沈船などは、サンゴやソフトコーラルが群棲し様々な海の生き物の住み家となっている。しかし、少し深度のある沈船などでは、まるでタイムカプセルに閉じ込められていたかのように当時の原型のままである。零戦などの戦闘機もジェ

ラルミン製のために錆びることなくきれいな状態で、水中に置き忘れられている。そして、それらの沈船、沈飛行機に積まれている遺留品も目にする事ができる。機銃、無線機、ビン、ヤカン、ガスマスクなど。また大きなものになると、戦車や機雷、トラックなども見られる。まさに水中の戦跡博物館である。また多くの沈船は船倉やエンジンルームの中に入ることもできる。ガイドがゲストのスキルに

応じたコース取りをし、初級者から上級者まで丁寧に対応してくれる。

「戦争を知らない世代」から「戦争があったことすら知らない世代」に変化していくなかで、ダイビングを通じて、戦争という史実に触れ、知識を得る機会を持つことができる。水中戦跡でのダイビングを経験することで、より充実した知的財産の旅になることは間違いない。

# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer





### 竹島 周辺の沈飛行機

- 01/ 零戦五二型は、竹島北東 水深5mに
- 02/ 一式陸上攻撃機 南西端 水深18mに
- 03/ 二式大艇 水深16mに眠る



01



02

## チュークの海で戦争を知る 海の戦跡博物館



### 哨戒艇三十四号薄 (ススキ)

◆トン数 1,020t ◆全長 84m

深度も浅く、小さな船なので、通常は水面休息のときに、スノーケリングのポイントとして使用する。ダイビングの場合、船内に入り、残された計器や機械類などを観察する。少人数でのダイビング、かつ長期滞在者にお薦めの船内探索の入門沈船



03



### 海軍運送船・桑港 (さんふらんしすこ) 丸

◆トン数 5,831t ◆全長 123m  
◆旧所属 山下汽船 ◆船種 貨物船

深度があるために、あまりサンゴなどの付着物がなく、船の形そのものがよくわかる。戦車、トラック、船倉の中の機雷がそのまま残り、沈んだ当時のままの様子が伺える。中級者以上のダイバーからエントリーできる。

# CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer





ダイビングセンター

## 「TREASURES」

2006年11月にオープンした、チュークで唯一の日本人経営ダイビングサービス。常時日本人ガイドが常駐する。ビギナーからフォト派まで、チュークの海を知り尽くしたガイディングには、定評がある。海だけではなく、もちろん陸上のケアも抜群と大評判。毎日更新される「CHUUKなブログ」も要チェック。

私たちダイバーにとって海は「宝物」

そして、ここチュークは私たちにとって「宝物」

ここを訪れてくださるお客様は「宝物」

お客様にとって、ここチュークが「宝物」となるように多くの思いをこめて

ショップの名前を「TREASURES」と名付けました。



## STAY! チュークのホテル&リゾート。



### 宝島 \$66～

チュークに来て30年になる大矢さんが経営する日本食レストラン&ホテル。部屋は4部屋と少ないが、セミダブルのベッドが2台あり1部屋の広さは申し分なし。レストランでは、日本食をはじめマンガローブガニやヤシガニ（要予約）も食べられる。名物は「ココナッツラーメン」で、醤油ベースにココナッツスープが入ったまろやかな味が人気の一品。



### ブルーラグーンリゾート

\$132～

チュークで唯一のリゾートホテル、広大な敷地の中にバーやレストラン、ストアなどがある。全室オーシャンビュー。長期ステイの外国人が多い。



### ハイタイドホテル

\$77～

空港から歩いて5分の距離にある、チュークで1番新しいホテル。レストランのメニューは、リーズナブルでボリュームがある。<トレジャーズ>からは遠いがホテルスタッフが送迎サービス（無料）をしてくれる。全30室



### トラックストップホテル

\$108.90～

アメリカ人経営のホテル。街中でありスーパーなどにも近いので買い物にも便利。カフェバー「ハードレックカフェ」やマッサージルームも併設する。レストランはステーキやチューク唯一のピザがある。リピーターの多いホテル。全24室

問い合わせ先

トレジャーズへのダイビングの申し込みはHPからも可能

<http://www.treasures-chuuk.com>

以下の旅行会社ではパッケージツアーも取り扱っております。時期により臨時便など、出ておりますので各旅行会社へお問い合わせ下さい。

ワールドツアープランナーズ  
<http://www.wtp.co.jp>

エスティーワールド  
<http://www.divenavi.com>

エアワールド  
<http://www.airworld.co.jp>

てるみくらぶ  
<http://www.tellmeclub.com>

## CHUUK, MICRONESIA

ミクロネシアの隠れ処、極上チューク・ダイブ!

Web-lue 2009. Summer



Information Link  
<http://www.treasures-chuuk.com/>

click! 関連情報HPへ